



# 朝ドラの女性の生き方をもっとたのびに

今年前半のNHK朝ドラは「ひよっこ」というお話でした。

あの朝ドラは、一九六四年の東京オリンピック以降の物語やったね。主人公のみね子ちゃんが、茨城県から集団就職で東京に出てきて成長していく物語でした。

よけいなことかもしれませんが、関西人にとっては、関東地方にある茨城と栃木と群馬というんが、どれがどこにあるのかようわかりません。さらに茨城県は、知名度が低く、二〇一六年度まで四年連続四七位、つまり一番低いそうです。

そんな中、今年「ひよっこ」に加えて、横綱・稀勢の里、大関・高安が出身ということもあり、茨城県は何かと話題になりました。

あつ。茨城は「いばらぎ」でなく「いばらき」と読むそうですな。大阪にも茨木市というのがあります。これも「いばらき」です。

さて、みね子ちゃんが最初に就職したのは、トランジスタラジオの製造工場です。

この工場では、みんな一心不乱に毎日毎日同じ仕事しています。ベルトコンベアに乗ったラジオの型に例えばA子さんはコンデンサーを差し込む、B子さんは抵抗器を差し込むといった具合に、それぞれ持ち場持ち場を守り、流れ作業をしているんです。

それを最終的に検品して、トランジスタラジオとして完全品を送り出す……。

日本人の長所である、まじめさ、教育水準の高さ、集団で取り組むチーム力などを生かして、日本は戦後の復興を遂げてくださいなやなあ、と朝ドラ見て改めて思いました。

## 東京のおっちゃんは修学旅行で製薬会社に連れて行かれたそうです

そういえば、大阪にも集団就職の子たちはようけ来てました。よく会う東京のおっちゃんは、中学生のとき、関西に修学旅行に来て、なぜか京都や奈良の観光地にまじって、大阪の製薬会社に連れて行かれたそうです。

その折、その会社はいかに福利厚生が充実したるか、というのを子どもたちに、語って聴かせたそうです。

当時は当然、中学生やっただおっちゃんは、——この言い方、なんかかけたいですが——なんのことかようわからず、後日、「あれは就職の勧誘やったんや、そういえば、あの職場、女の子しかおらんかったなあ」、なんて、思春期のころを遠い目してふりかえってました。

遅いわ！



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

このころから、3Cという言葉が家庭でのあこがれになりました。頭にCの字がつくもの、すなわち、カラーテレビ、カー(自動車)、クーラーの三つです。いわば大量生産、大量消費の時代の幕開けやね。朝ドラの主人公のトランジスタラジオ工場は、つぶれてしまったけど、日本中の工場は質の高い製品を作り出していったんです。

わが社はまだ親父の時代で、今の社名(株)アオキに変更したのは、時代が下り一九九五年のことです。

今もですが、そのころもウチは大量生産でなく、ニッチ、つまり隙間をねらって仕事をしてました。

そやから、大人数で流れ作業というのやなく、少人数で、業種も七回変わっています。

最初は農業機械からはじまり、建設機械の部品、造船の部品から、プラント(生産設備)、油圧機器を経てロボット、現在は航空機の部品が主となっています。

**あの朝ドラには  
かっつての青春がありませんなあ**

さてさて、みね子ちゃんから話が離れてしまいました。あの朝ドラには、かっつての青春がありませんなあ。お互い好きおうても、なかなか言い出せなかつたり、連絡の手段も携帯電話なんか想像もおよびませんでした。

歯がゆさもありますが、独身で若い時代にもどりたいような気にもなりません。

誤解なきように言っときますけど、今の嫁さんや家族には大

いに満足していますし、感謝もして言うとかんと、青木は若い愛人探しとると、

(写真提供: 共同通信社)



●北関東各地から集団就職で上京し、上野駅に着いた一行(1964年)

変な勘ぐりされるかもしれません。えっ!「そんなことないで?」いつもの東京のおっちゃんと言います。めずらしいですな。人格高潔な僕の本性が長う付き合うとると、ようようわかっつてきたのかもしれない。

「違う違う」で、じゃなんでやねん。

「今、青木さんが恋人と話しとつても、よそから電話かかってきたら、すぐ取って『おう、この前の打ち合わせやけどな……』と話し、切ったら『そやった、あいつにも電話せんと』、といてまたダラダラ話して、終わったら、ようやく、さて、エーとなんの話やったか、となります。若い子の誰が、そんな男、付き合いますかいな。奥さんと結婚できたのは、携帯電話なかった時代やつたんと、奥さんの孫悟空を操る三蔵法師のような人徳があったからですわ」。

今月は女性向きの話を、と言われて朝ドラの女性の生き方と思うてたのに、やっぱりおっちゃんの毒舌で終わってしまいました。

あーあつ。

